

リスクコミュニケーションやゲーミングに興味のある方へ

リスクコミュニケーション系ボードゲーム体験とディスカッション

「リスクとゲーム」 を対話する@札幌2025

開催日時

2025年6月13日(金)
18:30~20:30/20:30~懇親会

開場 18:00 (18:25までにご入場ください)

懇親会不参加でもOK

開催場所

**スペースタイム
オフィス&ガーデン**

札幌市北区北十条西4丁目1-9 SCビル1階

<https://www.stxst.com/about/access>



申し込み方法

メールフォームよりお申込ください/定員: 16名

(6月11日締切、ただし定員になり次第締切)

<https://ws.formzu.net/dist/S728383489/>



主催・協力・問合せ

企画・主催：古澤輝由（立教大学）

松永陽子（CoSTEP12期選科A修了）

協力：(株)スペースタイム

問合せ：松永 matsunaga-y@janus.co.jp

開催趣旨

立教大学では、学年、学部を超えて集まった立教大学の学生に向けたサイエンスコミュニケーション実践教育プログラム「SCOLA SIP（スコラシップ）」を実施しています。これまでに科学をテーマにしたボードゲームを制作してきましたが、2024年度には「**科学技術に関するリスク**」をテーマに「物語」と「ストーリーテリング」を取り入れたオリジナルゲーム「**モノクログ：今日、ふと道を歩きながら**」を制作しました。

日本でリスクコミュニケーションが行われるようになったのは2000年前後、そこから25年。特に話題を集めたのは、2003年のBSE（狂牛病）と、2011年の原子力発電所事故です。今は2025年、リスコミの歴史は長くなっても「**リスクをめぐる対話がうまくできている社会**」になっているのかというところではないように見えています。その中で、**SCOLA SIP**の試みは、これまでとは異なる形と着眼点から、リスクについて対話しようとした新しい取組だと感じています。

今回、皆さんとやりたいことは2つあります。一つ目は、この「モノクログ」を体験すると共に、様々な「**リスク（科学）×ゲーム**」の現物を見ながら、「**ゲームを利用した対話の可能性**」を探ること。もう一つは、「**リスク**」を扱うコミュニケーションで**大事なことは何か**。何度も繰り返される失敗は、どうしたら防いでいけるのかを考えることです。

プログラム

〈展示〉様々な「**リスク（科学）×ゲーム**」

18:00～ 開場

18:30～ 趣旨や背景の説明

18:35～ SCOLA及びモノクログ説明

18:40～ 「モノクログ」の体験

20:00～ ディスカッション

- ・ゲームを利用した対話の可能性
- ・「リスク」を扱うコミュニケーションで大事なことは

20:30～ 懇親会 & ディスカッション
(懇親会費3,500円)

※懇親会不参加の場合は、
メールフォームに記載ください